

《 競 技 注 意 事 項 》

1 本大会は、2026年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習及びウォーミングアップについて

ウォーミングアップは、下記のとおり係員の指示によって行うこと。

- (1) ウォーミングアップは、「練習会場の使用日程及びレーン区分について」のとおりとする。
- (2) 特に投てき練習は、使用日程に基づき事故防止に万全を期すこと。

3 招集について

- (1) 招集所は、室内走路北側付近に設ける。北側通路から入場すること。
- (2) 招集の方法
 - ① 競技者は招集開始時刻に招集所に待機し、アスリートビブスの最終確認を受けること。
その際、競技用シューズ・衣類・持ち物などの商標の点検も受けること。
スマートフォンやスマートウォッチ等の通信機器は競技場内へは持ち込めない。
 - ② 代理人による最終点呼は認めない。多種目同時に出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が多種目同時出場届（招集所に準備）を、招集完了時刻までに提出する。
 - ③ リレー競技に出場するチームは、各ラウンドの第1組の招集完了時刻の1時間前までに、所定のオーダー用紙（招集所に準備）に必要事項を記入し、招集所に提出（予選では1チーム4枚・提出時に3枚返却）する。決勝は、メンバー及びオーダー変更の有無にかかわらず、返却されたオーダー用紙で手続きをする。
 - ④ 出場種目を棄権する場合は、欠場届用紙（招集所に準備）に記入し招集完了時刻までに招集所に提出する。リレー種目については、リレー・オーダー用紙提出時刻までとする。
 - ⑤ 招集完了時刻に遅れた競技者及びリレー・オーダー用紙を提出されない場合、当該種目を棄権したものとみなし処理する。
 - ⑥ 商標の点検は自ら行い、競技場内で係から指摘を受けることのないようにすること。
14その他（2）を参照する。
 - ⑦ 招集完了時刻は、次のとおりとする。ただし、トラック競技においては組数によって完了時刻が変わる場合がある。

種 別		招集完了時刻
ト ラ ッ ク 競 技		20分前
走幅跳・三段跳		30分前
棒高跳（女）・砲丸投（女）・ハンマー投（女）		40分前
走高跳・砲丸投（男）・円盤投（女）・ハンマー投（男）・やり投（女）		50分前
棒高跳（男）・円盤投（男）・やり投（男）		60分前
混成競技	第一種目	トラック：20分前 フィールド：30分前
	第二種目以降	トラック 男子：20分前、女子：15分前
		フィールド 30分前

混成競技において、第1日、第2日ともに第1種目は招集所で招集を受けるが、それ以降の種目については、混成競技控場所（北倉庫：100mスタート付近）で招集完了時刻までに点呼・確認を受ける。

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、各自の登録ナンバーを胸部と背部に付けること。
ただし、跳躍種目の競技者は胸部又は背部の片方だけでもよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーカードをパンツの右横やや後方に安全ピンで付けること。また、2000m以上の長距離種目においては、周回確認用のレーンナンバーカードも胸部に安

全ピンでつけること。これらは、すべて招集所に準備する。(競技終了後は、すべてフィニッシュ地点付近で回収する。)

- (3) 4×100mRの第4走者、4×400mRの2・3・4走者は、腰ナンバーカードをパンツの右横や後方に付けること。

5 競技場への入退場について

(1) トラック競技

- ① 競技場への入場は、100mスタート側およびゴール側の門から行う。
- ② トラック競技者は、フィニッシュライン到着後、第1ゲート(ゴール側)から退場する。
ただし、4×100mRの第1・第2走者は、第1ゲート(第1コーナー)から、第3・第4走者は第4ゲート(第4コーナー)からそれぞれ退場すること。
- ③ 直線種目(100m、110mH、100mH)はゴール後、室内通路を通り退場する。

(2) フィールド競技

- ① 競技場への入場は、トラック種目と同様とする。
- ② 競技を終了した選手は、跳躍及び投てき競技役員の指示により最寄りのゲートから退場する。

6 番組編成について

- (1) 予選におけるトラック競技者の走路順、跳躍、投てき競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で示す。
- (2) 準決勝・決勝のレーンは、主催者において公平に組合せの上、抽選して決定する。
- (3) トラック競技の準決勝・決勝に進む+αの決定について
 - ① 全競技、写真判定の記録順(1/100秒)による。
 - ② 予定された人数を上回って同記録が出た場合はすべて写真判定の記録の1/1000秒単位の詳細な着差判定を行う。それでも同着の場合は、800mまでの競走とリレー競走は抽選、1500m以上の競走においては、すべて次のラウンドに進める。ただし、レーンに余裕がある種目(100m、100mH、110mH)では同記録者の着差判定は行わず、次のラウンドに進めるようにする。ただし、レーンに不足がある場合は抽選とする。

7 競技について

(1) トラック競技

- ① レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空けること。
- ② 短距離走では、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)に沿って走り、他の走者の妨害をしないようにすること。
- ③ 4×100mRの第2・3・4走者は、走路に自分で準備したマークを一ヶ所使用することができる。ただし、各チームはそのマークを、責任を持って撤去すること。
- ④ リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。予選に出場したメンバーはその後のラウンドを通して、2人以内に限り他の競技者と交代することができる。また、リレー競技に出場するチームは同一のユニフォームを着用すること。

※ 奨励種目(女子2000mSC)だけにエントリーしている選手は、リレー種目に出場することはできない。

⑤ イエローカード(以下、YC)について

- ア) WA競技規則CR18.5の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19、に違反があった競技者やリレーチームにYCを提示し警告を与える。この場合他の種目との合算は無く、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
- イ) 同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCを提示の累積は、当該種目のみに適用する。

(2) フィールド競技

- ① 暑熱対策と待機時間の短縮のため、フィールド競技の試技時間は30秒、棒高跳のみ45秒とする。ただし、高さの種目において残っている競技者数が2～3人以内及び連続試技は規則通りとする。
- ② 跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者の用意したマークを2個まで置くことができる。
- ③ 競技場内での練習は、全て競技役員の指示に従うこと。指示以外の練習は認めない。
- ④ 三段跳の踏み切り板は男子11m地点、女子9m地点に設置する。
- ⑤ 棒高跳の公式練習は、ゴムバーで行う。
- ⑥ 男子走幅跳は予選（予選通過標準記録6m20）、決勝で実施する。予選通過標準記録を超えた競技者が12名に満たなかった場合は、記録上位12名まで決勝に進出させる。
- ⑦ 走幅跳・三段跳のコーチングエリアに、紐で吊るしたクリアケースを準備する。

8 バーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳の練習の高さ及びバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後
走高跳 (男子)	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m93	1m96	+3cm
	1m80								
走高跳 (女子)	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	+3cm
	1m45								
棒高跳 (男子)	3m00	3m10	3m20	3m30	3m40	3m50	3m60	3m70	+10cm
	3m70								
	4m30								
棒高跳 (女子)	1m30	1m60	1m70	1m80	1m90	2m00	2m10	2m20	+10cm
	2m60								

- (2) 混成競技の走高跳については、申告のあった高さで一番低い高さから開始し、3cmずつ上げる。
- (3) 第1位が同成績の場合と東北大会出場権を決定する場合においては順位決定のジャンプオフを行う。そのためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

9 測定標準記録について

- (1) フィールド競技の記録は全て計測する。測定標準記録を設けない。
- (2) 競歩においては、男子30分、女子33分で最終周に入らない場合、競技を続行できない。

10 競技用器具について

競技に使用する器具は、主催者の準備したものを使用すること。棒高跳のポールは検定のうえ使用すること。なお、検定については、棒高跳のポールは跳躍場において競技開始までに行うこと。

11 表彰について

- (1) 男女総合・トラック競技・フィールド競技それぞれ3位まで表彰する。
- (2) 各種目第3位までの入賞者を表彰する。ユニフォームでの参加は禁止とする。成績発表後、表彰控え室へ集合すること。

12 一般注意事項

- (1) 健康上で問題が生じる等、応急手当が必要な場合は、医務員に連絡すること。競技会場での疾病傷病等の応急手当は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (2) 大会期間中の貴重品の管理は各自行う。盗難にあっても責任は負いかねる。
- (3) 集団応援は他の競技に支障のないようにすること。
- ① 集団応援はメインスタンドでは行わない。
 - ② 競技及び運営の妨げとなる応援は禁止する。(フィールド競技者による手拍子要求も含む)。

- (4) 記録はその都度発表するが、随時大会結果速報を更新する。
- (5) 届けられた遺失物については、大会庶務係で保管する。

1.3 個人情報の取扱及び盗撮防止について

- (1) 個人情報の保護に関する法律及び関連法令を遵守し個人情報を取り扱います。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用します。
- (2) 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が、競技会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ、ラジオ、インターネット等の媒体に掲載することがあります。
- (3) 大会時の写真・動画については、ソーシャルメディア（SNS、電子掲示板、ブログ、投稿サイト、情報共有サイト等）で掲載及び配信をしないこと。ただし、団体及び個人が、事前に許可を得ている場合はこの限りではない。
- (4) 撮影にあたっては、主催者の指示に従うこと。（撮影禁止エリアがあります。P15 参照）

1.4 その他

- (1) 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用することはありません。
- (2) 商標等の規則については「競技会における広告及び展示物に関する規程」に基づく。競技場で着用する衣類やバッグの1品ごとに製造会社のロゴが入っている場合は、その大きさは、面積40cm²・高さ5cm以内とし、それぞれ1か所とする。これを越えるものについては、競技場内には持ち込めない。競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。特にTシャツやバックにプリントされているロゴなどについては注意すること。